

5. ヒートアイランド対策効果シミュレーション結果

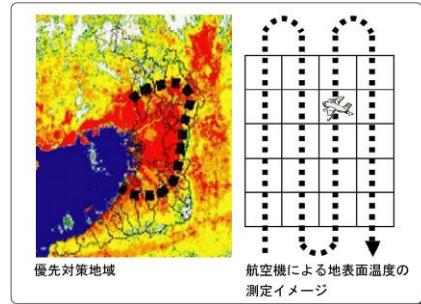
(1) 熱環境（熱負荷特性）マップ

熱環境（熱負荷特性）マップは、航空機から測定した地表面温度や、人工排熱、土地被覆、気象条件等各種データを用いて解析を行い、1km²毎に熱負荷の程度の状況を類型化して示したものであり、地域における熱負荷の特性と、大きさの程度を知ることができる。

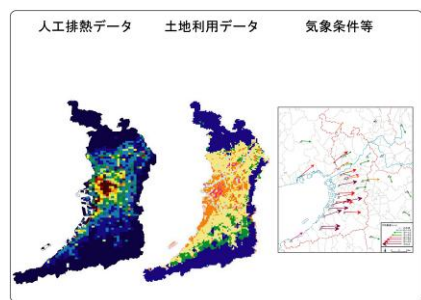
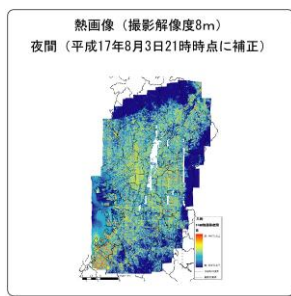
○大阪府ヒートアイランド対策推進計画における優先対策地域(※)を中心に、航空機からヒートアイランド要因となる地表面温度を測定する。

※優先対策地域とは？

平成12年8月の人工衛星データから推定した地表面温度が33℃以上（右図中赤色部分）の地域で、概ね大阪中央環状線、大阪高槻京都線、国道171号、国道170号、堺羽曳野線、泉大津美原線の道路境界線を円滑に結んだ地域に相当する。



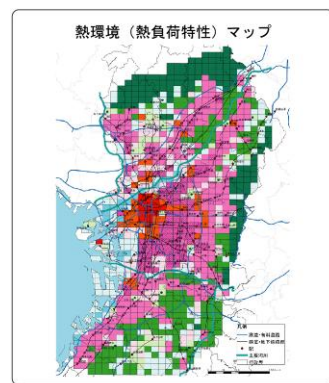
○次に、測定した地表面温度と、人工排熱データ・土地利用データ・気象条件等のデータをあわせて解析し、地域における放熱の特性と、大きさの程度を求めます。



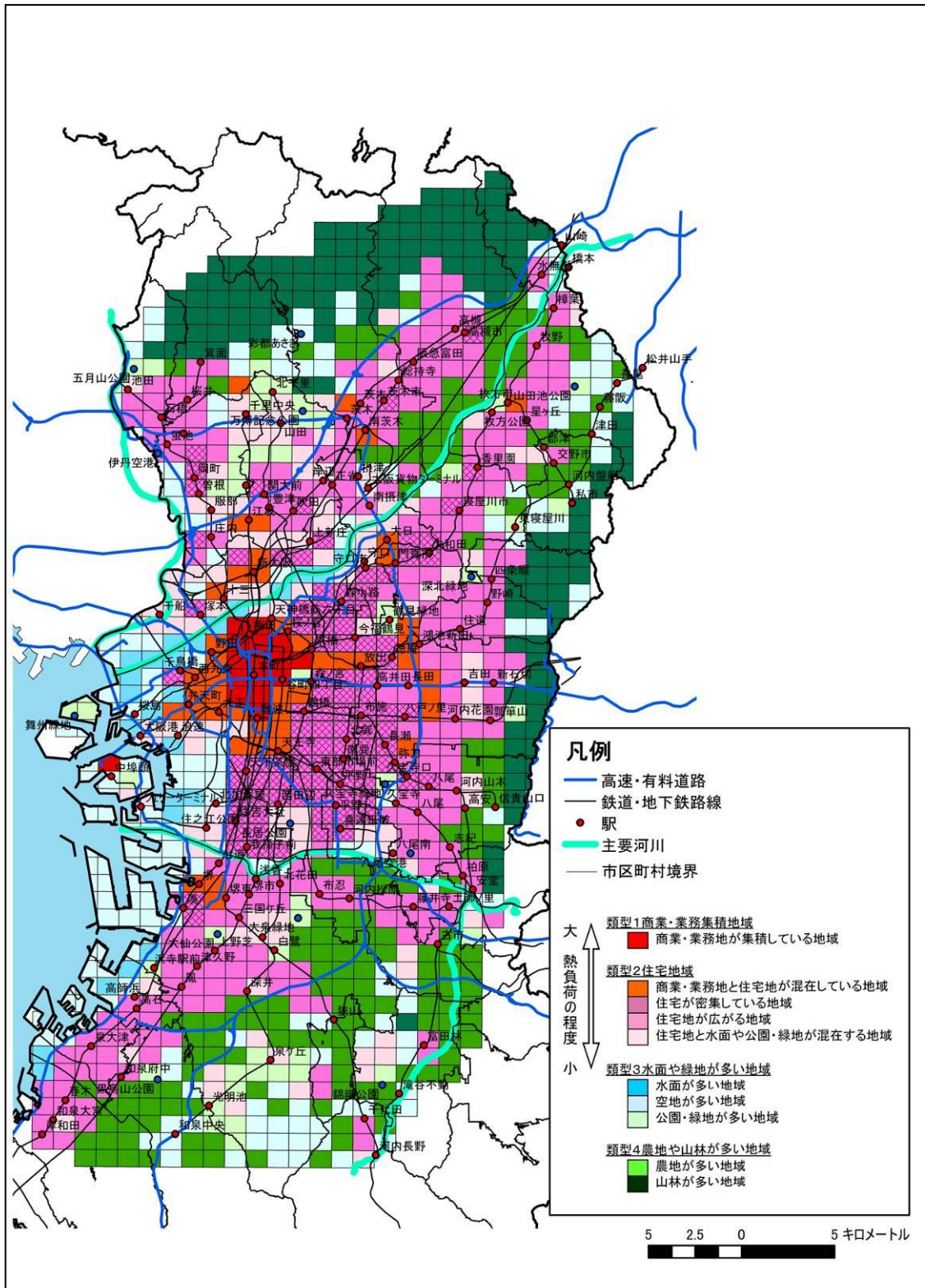
○解析した結果をもとに、府域におけるヒートアイランド化の状況を1km²毎にまとめたものが、熱環境（熱負荷特性）マップである。

熱環境マップの協議市町村は以下の31市町である。

大阪市、豊中市、池田市、箕面市、吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町、守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四条畷市、交野市、八尾市、柏原市、東大阪市、富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、堺市、泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町、岸和田市



出典) 大阪府資料



熱環境（熱負荷特性）マップ

出典）大阪府資料